



東 俣 野 9月号

東俣野小学校 学校だより 平成27年8月28日

夏休みを終えて

校 長 村田 幹男

夏休みが終わり、子どもたちの元気な声もどってきました。今年の夏休みもとても暑い日が続きましたが、子どもたちは猛暑にも負けず、元気に楽しく毎日を過ごすことができたのではないかと思います。

先日、影取町の夏祭りに出向いたときに、数名の児童に「夏休み、楽しかった？」と聞くと、「親戚の人たちと一緒にキャンプに行って楽しかった。」「友だちとたくさん遊べた。」といった答えが返ってきました。今も昔も同じで、やっぱり夏休みは子どもにとって楽しい思い出となるようです。高学年の児童には「宿題はもうばっちり？」とふってみると、「もうほぼ終わっています！」と胸を張って答えた子もいれば、「それは聞かないでほしかった。」と言葉を濁す子もいます。これも昔と同じ。宿題は早めに済ませておけば楽なことは分かっているものの、結局、終盤になってからでないエンジンがかからないというタイプは必ずいるようです。

私はクラス担任時代、夏休みの思い出話を紹介しあう時間がとても楽しいひとときでした。今の本校の担任もきっと同じ。各クラスで、担任自身も含め、夏休みの楽しい思い出を紹介しあって、いろいろなことを共有したことでしょう。

夏休み前の朝会では、子どもたちに「夏休みは、ふだんなかなかできないことに挑戦するよい機会です。自分でどんなことをするか計画を立てて、いろいろな体験をしてください。」と話しました。これは各自の自由研究となってかたちに表れます。9月第1週目は夏休み作品展です。皆さんもぜひご参観にいらしてください。

何かを一生懸命に行ったことや続けて取り組んだことは、子どもたちの自信になり、今後の挑戦の原動力になります。また、自分で見たこと、聞いたこと、肌で感じた体験からは、大きな学びがあります。通常の学校の学習では体験できないことをできるのが夏休みのよさだと思います。

いよいよ前期も後半に入ります。夏休みの間の体験で学んだことや身に付けた力をぜひこれから活かして行ってほしいです。まだまだ残暑が続くと思います。体がまだ「夏休みのリズム」になっているようでしたら、学校生活のリズムに早く体をならして元気に登校できるように、ご家庭でもご協力をお願いします。